

港区立港南中学校 課題分析表

教科	教科の課題分析
国語	<p>2年 平均73.7の正答率で、全国70.9を上回った。しかし、区は76.6なので、下回る結果となった。話し合いの内容を聞き取る力に課題がある。漢字の読み書きの更なる定着も図る必要がある。既習した漢字の反復練習を徹底指導したい。</p> <p>3年 平均72.4の正答率で、全国67.3、区69.2を上回った。特に聞き取る力は89.9の正答率で、話す・聞く力の成長が見受けられる。漢字の読み書きに課題がある生徒が学年で12名いることがわかった。少人数授業をいかにして、個別対応を試みる。</p>
社会	<p>2年生は全体的に正答率が高いが、地理においても、歴史においても資料から読み取る問題での正答率が低くだけでなく、無解答率も高い。自分が理解している、繰り返し学習をした内容については、ある程度自信をもって解答することができているが、初見の問題などは解答しようとする意欲を持たない生徒がいる。3年生も同じように無解答率の高い問題があり、学習内容に対する理解の度合いに差があると考えられる。また資料を分析して自分の言葉で表す活動においては、分析をするところと、表現するところの2か所でつまづきがあると思われる。</p>
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は観点別正答率が4観点すべてで全国平均を5ポイント下回っている。特に表現力は33.9ポイントであり、区平均46.8、全国平均44.2に比べ10ポイント以上低い。東京ベーシックドリル小4の内容も正答率8割以上の生徒が45パーセントしかいない。東京ベーシックドリルを用いた反復演習を行い、基本的な計算力をつけさせるとともに、グループ活動で互いに発表し様々な考えを学ぶ機会を多く取り入れる。 ・2年生は前年度に比べ0.3ポイント全国平均より低い。数量や図形などについての知識・理解が56.3ポイントであり、区平均61、全国平均57.2を下回った。小テストを取り入れる。 ・3年生は4観点すべてで全国・港区平均を超えた。関心・意欲・態度は52.4ポイントであり、区平均47.6、全国平均47を超えた。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生は、港区・全国ともに約3ポイント下回った。地学分野（火山・地震・地層）は区平均よりも3ポイント高いが、化学分野の水溶液の問題に関しては、区平均よりも12.7ポイントと大きく下回った。化学分野（物質の成り立ち）では、中学校理科の内容で初めての計算問題が入ってくる。（密度・質量パーセント濃度）計算問題は昨年問題視されていた部分であるので、重点的に指導していきたい。 ・3年生は、0.5ポイント港区より低く、1.2ポイント全国より低い。生物分野の動物の分類では、区平均よりも6.7ポイント高い51.2ポイントに上昇した。物理分野の電流の性質においても、区平均よりも3.9ポイント高く、全国よりも7.3ポイント高い62.2ポイントに上昇した。ただし、化学分野の物質の成り立ちについては、区平均よりも7.7ポイント低い。化学分野は1年生の内容であり、復習が足りていない部分があったと予想される。復習の時間を授業内でより取り入れるなどして対策を行ってほしい。
音楽	<p>(1学年)入学時には、落ち着かない生徒がいたが、移動教室を境にどちらのクラスとも、授業の取り組みがよくなってきた。この学年は、女子が男子の半分しかいないので、混成合唱を行うのは大変だが、パート編成を工夫して、より良い合唱になるように努力する。</p> <p>(2学年)全体的には前向きな気持ちで授業に取り組んでいる。男子の中に、年生の頃集中力が続かない生徒がいたが、2年生になってからは授業態度が改善されている。女子は昨年、入学時からなかなか声が出ない生徒がいたが、2学期頃からだんだん出るようになり、今では男子に負けないくらいになった。ただ、発言は男子に比べて少ないので、励ましていきたい。(3学年)集中力が続かない生徒がまだ男子の中にいるが、昨年よりは改善されている。全体的には指導には素直に従い、頑張ろうとする気持ちがある。男子の音量は2年生の後半から増してきて、女子にも良い刺激になっている。実技でもその他の学習でも力がついてきた。</p>
美術	<p>(1学年)制作技術力はあるが、集中力が続かない生徒がいる。自己の課題と向き合い、より良くしようとする意欲的な行動力が低い。</p> <p>(2学年)意欲は高いが自己肯定感が低い生徒が多く、経験の不足からくる自己表現や物のなりたちなどを知らないことが多いことが課題と言える。</p> <p>(3学年)発想したことを自分なりにまとめ、完成させる能力を持っている。より高い質にすることが課題である。</p>
保健体育	<p>各学年の男子の体力は、全国平均と比較してほぼ同じでバランスも良いが、筋パワーと柔軟性に課題がある。課題を解決していくために、力の負荷の大きい運動、連続して跳ぶ運動など増やしていく。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p> <p>1 女子の体力は、国平均と比較してほぼ同じでバランスも良いが、バランス力に課題がある。課題を解決していくためには、体幹トレーニングを増やし、体を支える力を高めていく。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p> <p>2 年生の女子の体力は、全国平均と比較してほぼ同じでバランスも良い。体力向上を図るためには、垂直跳びや縄跳びなどの運動を増やし、筋パワー（筋力とスピード）を高めていく。</p> <p>3 年女子の体力は、全国平均と比較すると低く、バランスも悪い。全体的なレベルアップをする必要がある。特に筋力と柔軟性を高める必要がある。課題を解決していくために、力の負荷の大きい運動、連続して跳ぶ運動などを増やす。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p>
技術家庭	<p>生徒の身近なところにある問題を提示し、自分の事と捉えて考えることのできる機会を増やします。</p> <p>《1年》 2学期以降、実習が増えるため、生徒が活動内容に興味をもち、意欲的に取り組むことのできる授業構成をします。</p> <p>《2年》 情報の収集・共有を定期的実践します。</p> <p>言語活動を通してコミュニケーション能力を養います。</p> <p>《3年》 3年間の集大成として課題設定（教材選択）、実践を通して、生活に役立つ知識と技能の育成に努めます。</p>
外国語	<p>2年 平均76.9で、全国58.5、区73.3、昨年平均69.1を上回った。語形・語法、単語の並び替え、単語の知識など知識・理解などが高く、その知識を活用して長文の読み取り、英作文でも良い結果だった。前置詞の知識がやや弱いので、継続的に指導していく。</p> <p>3年 平均74で、全国58.6、区71.6を上回った。特に英作文は全国37.2に対し、55.5と大きく上回ったため、60を目指して指導していく。</p> <p>2年、3年とも分布図で90～100の山が一番高く、昨年の課題であった40～50の生徒数が減った。全体の語財指導や語彙指導や、個別の補充指導を繰り返した成果が上がっている。</p>